

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1単位	必修
担当教員			
北村 光子			

講義概要	生活支援技術やコミュニケーション技術の活用と共に ICF の概念を理解する。		
授業計画	1	<p>アセスメントの実際① アセスメントの理解</p> <p>学習課題 復習：テキスト p92～94 アセスメントの目的と構成 予習：ICF に基づくアセスメントを調べる</p>	
	2	<p>アセスメントの実際② ICF について学ぶ</p> <p>学習課題 復習：介護過程におけるアセスメント 予習：観察の視点</p>	
	3	<p>情報収集① 情報収集に基づく観察の視点</p> <p>学習課題 復習：情報源と情報収集の手段 予習：事実における観察の視点</p>	
	4	<p>情報収集② 日常生活の情報収集と意識的な判断</p> <p>学習課題 復習：日常の観察の視点 予習：7つの視点に基づく情報収集</p>	
	5	<p>情報判断① 情報判断のための必要な知識と経験による知識</p> <p>学習課題 復習：介護実習を踏まえた必要な知識 予習：判断知識（移動・歩行）</p>	
	6	<p>情報判断② 判断知識（移動・歩行）</p> <p>学習課題 復習：配布資料から判断知識（移動・歩行）を分析する。 予習：判断知識（食事・排泄）</p>	
	7	<p>情報判断③ 判断知識（食事・排泄）</p> <p>学習課題 復習：配布資料から判断知識（食事・排泄）を分析する。 予習：判断知識（清潔）</p>	
	8	<p>情報判断④ 判断知識（清潔）</p> <p>学習課題 復習：配布資料から判断知識（清潔）を分析する。 予習：判断知識（睡眠・環境）</p>	
	9	<p>情報判断⑤ 判断知識（睡眠・環境）</p> <p>学習課題 復習：配布資料から判断知識（睡眠・環境）を分析する。 予習：利用者ニーズ</p>	
	10	<p>情報判断⑥ 利用者ニーズの判断</p> <p>学習課題 復習：利用者ニーズの判断 予習：テキスト 第3章第2節の事例を基にニーズ判断する。</p>	
	11	<p>情報判断⑦ 利用者ニーズの判断のための演習</p> <p>学習課題 復習：配布した課題を ICF を基にして記入する。 予習：配布した課題をアセスメント表に記入する。</p>	
	12	<p>情報判断⑧ 利用者ニーズの判断のための演習</p> <p>学習課題 復習：配布した課題を ICF を基にして記入する。 予習：配布した課題をアセスメント表に記入する。</p>	
	13	<p>情報判断⑨ 利用者ニーズの判断のための演習</p> <p>学習課題 復習：配布した課題を ICF を基にして記入する。</p>	

	<p>予習：配布した課題をアセスメント表に記入する。</p> <p>14 優先順位① 優先順位の検討</p> <p>学習課題 復習：優先順位の意義 予習：優先順位の付け方</p> <p>15 優先順位② 優先順位の検討</p> <p>学習課題 復習：優先順位の意義 予習：優先順位の付け方</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①情報収集の視点を理解することができる。</p> <p>②情報収集の方法を理解することができる。</p> <p>③情報収集したものを基に分析・判断することができる。</p> <p>④生活ニーズを抽出し整理することができる。</p> <p>⑤生活ニーズの優先順位の付け方を整理できる</p>
教科書・参考書	介護福祉士養成講座編集委員会 第3版 「新・介護福祉士養成講座 10 『介護過程』 中央法規出版 テキストを補う為に、必要に応じて資料を配布する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間後や空きコマなど、教室や研究室で質問など受け付けます。
備考・メッセージ	次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解してください。